

基本目標Ⅴ 地域における男女共同参画のまちづくり

主要課題1 市民との協働による男女共同参画の推進

施策の方向(1)男女共同参画の視点に立った地域活動の推進

資料2

基本的施策	No.	指標等	具体的な取り組み	令和5年度の取り組みとその成果	担当課	達成度	今後の課題または成果の継続のために具体的に取ること
男性の地域活動の参画促進	94		男性が地域の人とのつながりを大切にしながら暮らしていけるよう、情報提供を行い、地域活動への参画を促進します。	地域広報紙「ふじみ野エクスプレス」のほか、館内のサークル紹介コーナーやギャラリーにおいてサークルや団体の活動紹介を行った。	ふじみ野交流センター	3	今後も、男性が様々な形で地域の活動に参画できるよう、地域広報紙や館内掲示等を通じて情報提供を行う。
				毎月発行の交流センターだより「つるせ西だより」の紙面において、鶴瀬西地域の情報発信を行った。男性が地域活動へ参画できるような話題と事業紹介も取り入れる工夫を試みて、読者からの事業への参加も増えた。	鶴瀬西交流センター	3	今後も引き続き、地域情報誌としての役割を果たすために、紙面の充実を図る。
				男性が地域活動へ参画することが出来るよう、また、広く市民が地域とつながりを持ち心豊かに暮らしていけるよう、富士見市の生涯学習についてまとめた生涯学習ガイドを発行し情報提供に努めた。	生涯学習課	3	市民に情報が伝わるように生涯学習ガイドのレイアウトや記載内容を検討する。
				健康スマイル講座において、男性の関心が高いテーマの講座を企画、実施した。(全10回、講師は泌尿器科、循環器内科、腎臓内科、婦人科の医師や薬剤師、管理栄養士、理学療法士等。平均参加人数は15人程度)	鶴瀬公民館	3	男性が興味を持つ講座の企画に努める。また、男性が参加しやすくなるよう情報提供の方法を工夫する。
				【高齢者支援事業】・なんばた学級 地域の60歳以上を対象として、運営委員会で年間の事業計画を作成し、全体学級を10回開催した。 延べ参加者数：441人(参加男女比約3対7)	南畑公民館	3	運営委員会の意見やアンケート結果を参考に、なんばた学級生が関心を持って参加できるよう事業計画等の工夫した運営に努める。
				館内掲示やサークル活動公開月間により、男性が地域活動に参画するための情報提供を行った。	水谷公民館	3	取組みを継続する。
				熟年学級における各種クラブ活動や落語、学習会など情報提供を行った。	水谷東公民館	2	熟年学級の男性受講者数は女性の約1/10だったため、今後も活動内容について工夫する。

基本的施策	No.	指標等	具体的な取り組み	令和5年度の取り組みとその成果	担当課	達成度	今後の課題または成果の継続のために具体的に取ること
地域の人材の登録と活用	95		ボランティアへの意欲、経験や知識を活かして地域との関わりが持てるよう、「富士見市市民人材バンク」や「富士見市ボランティアセンター」等への登録を促進します。	社会福祉協議会が運営する富士見市ボランティアセンターでは、ボランティアグループの活動等を紹介する「うさみんクラブ通信」を年2回発行するとともに、各種SNS（Facebook・X（旧Twitter）・Instagram）による情報発信と併せて、ボランティアスクール等のボランティア活動に興味・関心を抱くきっかけとなるイベントを開催した結果、前年度を上回る登録状況を達成しました。 ボランティアセンター登録数（R6. 3. 31時点） 団体：115団体（1,745名）個人：145名	福祉政策課	3	幅広い世代に届くよう多様な媒体を活用した情報発信に努めるとともに、社会の変化や地域のニーズを把握し、ボランティア団体の活動支援や団体間の連携促進に取り組む。
				広報紙の発行や活動写真展の開催、モデル事業の実施など、市民人材バンクが広く知られるよう周知に努めた。	生涯学習課	3	登録いただいた方が様々な場で活動できるよう、推進員の会と協働して周知活動を行う。
NPO団体・ボランティア団体等の交流の場づくり	96		NPO団体・ボランティア団体等の交流の場づくりなど、多様な地域活動を推進します。	<p><イベント名>市内NPO交流会 テーマ：市内NPO法人や市民活動団体などの交流や情報交換の場作り 日時：令和6年2月21日（水）午後2時 対象：市内NPO法人や市民活動団体 会場：市民福祉活動センターぱれっと会議室 定員：30名程度 参加者：市内NPO法人や市民活動団体 内容：各団体の自己紹介、フリートークによる情報交換を行い市内で活動する団体間の交流を図ることができた。 ・市民活動保険（市民活動団体が行う公益的活動中の傷害等を補償）の継続加入を行った。 ・市民活動団体等へのAEDの貸出を行った。</p>	協働推進課	3	周知方法・開催内容について検討を行い、より効果的な実施を行う。
環境問題への男女共同参画の推進	97		地域の環境に関する課題に対し、男女共同による参画を推進・支援します。	環境施策推進市民会議では、市民・事業者・行政がそれぞれの役割分担の下、連携・協力しながら、地域の環境課題・環境問題の改善に向け、男女を問わず、自由に意見を求め、啓発活動や学習会などが行われている。	環境課	3	会議の際に男女問わず、自由に意見を述べる事ができる雰囲気づくりなどに取り組んでいく。
防犯活動への男女共同参画の推進	98		市民一人ひとりが、地域の安全を守るという共通認識を持ち誰もが安心・安全な生活を送ることができるよう地域で取り組む防犯活動への支援を行います。	自主防犯活動団体への防犯パトロール用品の配布を行った。また、富士見市自主防犯活動マニュアルを窓口へ設置したほか、市ホームページ等で防犯に関する周知啓発を行っている。	協働推進課	3	女性や幅広い年齢層への防犯活動への参加、防犯意識の周知・啓蒙を図る。
防災訓練や自主防災組織への男女共同参画の推進	99		地域で組織している自主防災会などにおける、男女共同による共助活動を推進・支援します。	富士見市防災ガイドブック、避難所運営マニュアルにおいて女性の視点を盛り込んだ災害対応を行うよう定め、男女共同の災害対応を推進している。富士見市防災リーダー養成講座において、女性の講師をお願いし、男女共同参画視点を含めた講義を実施した。 実施日：令和5年7月1日、7月2日 対象者：市内各自主防災会会長から推薦を受けた者 参加者：18人	危機管理課	3	引き続き、より一層女性の防災活動への参画が図られるよう訓練や出前講座等の機会を通じて周知啓発を行っていく。

基本目標Ⅴ 地域における男女共同参画のまちづくり

主要課題1 市民との協働による男女共同参画の推進

施策の方向(2)男女共同参画の視点に立った防災体制の充実

基本的施策	No.	指標等	具体的な取り組み	令和5年度の取り組みとその成果	担当課	達成度	今後の課題または成果の継続のために具体的に取ること
防災体制の充実	100		災害対策本部や避難所運営組織に女性を配置し、多様な視点が防災活動に盛り込まれるよう、推進体制の整備に努めます。	避難所の運営組織である地域対策本部に、複数の女性職員を配置した。避難所を運営する市の職員である地域対策本部職員を市内全ての小学校に各5名を指定している。そのうち2名以上は女性を指定し、避難所運営に女性の視点を反映している。	危機管理課	3	今後についても、継続して取り組む。
	101		男女や高齢者、障がい者、性的マイノリティ等、あらゆる市民に十分配慮した避難所の運営及び備蓄品等の充実に努めます。	避難所運営マニュアルにおいて、男女や高齢者、障がい者、セクシュアル・マイノリティ等の方々に配慮した避難所運営を行うよう推進している。また、それらの方に対応した災害時用備蓄品の配備を行っている。これまでの備蓄品に加え新たに尿とりパッドを購入し配置した。また、地域対策本部職員避難所開設訓練において、災害時要支援配慮者への対応について周知をはかった。	危機管理課	3	今後においても、様々な方に配慮した避難所の運営及び備蓄品等の充実に努める。

(評価基準)

(説明)

- 0 …… 0個 (0%) 0…その他(感染症流行や自然災害等による中止等)
- 1 …… 0個 (0%) 1…未実施
- 2 …… 7個 (3.9%) 2…実施した (実施しているが課題がある) ※参加人数が少ない等
- 3 ……174個 (96.1%) 3…実施した (年度目標達成) ※課の年度目標を達成している